

第 2 回 阿賀野市市政モニター会議 議事要旨

1 会議の概要

日 時 令和元年 9 月 30 日(月)午後 7:00～8:30

場 所 阿賀野市役所 402 会議室

出席者

【モニター】(敬称略)

月岡 健一、権瓶 佳子、赤沼 映美子、塩田 亨、田村 真樹、廣川 亜美、
土岐 一希、雪 薫、伊藤 明美、榎本 英樹

【市】

市長政策・市民協働課:課長補佐 遠海 美穂子、
秘書広報広聴係主任 小林 政仁、同係主事 小林 佳乃子

2 議事概要

(1)市勢要覧について

(2)平成 30 年度阿賀野市市政モニター会議での意見・提言に対する回答

(3)総合計画の政策体系ごとの意見・提言について

3 主な意見(○:モニター、●市職員)

【市勢要覧】

○いい資料だと思うが、比較対象がないので比較ができない。例えば、県内はどういう状況にあり、その中で阿賀野市はどうなのかが分かるよう、県平均や他自治体などと比較できるものや、それについてのコメントがあればよい。

○非常によくできている。市勢要覧 18 ページの市民所得について、国、県平均より低い、これは客観的な数値である。例えば、ブータンは所得が低い幸せ度は非常に高い。阿賀野市には阿賀野市の住み方があると思う。所得は低くても、幸せ度は高いといった市民目線で感じた主観的なデータを入れることによって、味気なさが緩和され、よりデータも見やすくなる。

○市勢要覧を毎年作るのであれば、各中学校の美術部などに描いてもらうのはどうか。子どもたちが作ったものであれば愛着も湧く。阿賀野市オリジナルでやってもいいと思う。

○どちらかというと「現状こんな感じですよ」というのが前面に出ている。市外の人を対象にするのであれば「この市で暮らすとこういうメリットありますよ」という部分があった方がよい。

●この市勢要覧は、市民のほか視察に来られた方などに、市の概要を説明するためのツールとして、コンパクトにまとめたもの。

観光分野では、今年、観光協会で観光パンフレットを新たに作成した。

○「自分の能力を開花させたい」「充実感に浸りたい」気持ちを持つ若者は、都会にもいると思う。そういう人たちが地域おこしに手を挙げて移住すると思うので、阿賀野市はやりがいがあり、自分を試せ、充実感に浸れる場所だということを4コマ漫画で表現し、入れてみてはどうか。

【市の中心拠点となる施設の配置(昨年度の意見)】

○平成 30 年度阿賀野市市政モニター意見・提言報告書に対する回答の6ページ、「市の中心拠点となる施設を1か所に集約すればいい」という意見について、個人的には、老後も今のところで生活することを考えると、とてもじゃないが大型商業施設へはいけない。今はバスがあるからいいが、歩いていける範囲にお店がないと、その地域自体に人が住めなくなる状況が出てくる。

コンパクトシティは、エリアが 2 キロ範囲くらいで集約できるならいいと思うが、これを阿賀野市で置き換えたとき、周りも含め、自分たちの老後はどうなるのかと不安がある。

●おっしゃるとおりだと思う。コンパクトシティではなく、小さな拠点といって、いくつかの拠点を作り、そこに公共交通をつなぐという考え方がある。

まちづくりはいろいろな形があるが、阿賀野市にどんな形がフィットするのか、今後どうしていくかということを立地適正化計画でと考えている。

○今の状況を考えると、1か所に集約ではなく、いくつか拠点を作り、それぞれに機能を持たせ、それらを連結するのがいいと思う。大型商業施設はいつ撤退するか分からない。県内に撤退事例もある。地域に住んでいる人が地域で商売をやってもらわないと地域そのものが長続きしない。

●誤解のないように言うと「市の中心拠点となる施設を1か所に集約すればいい」というのは、市がそうするというものではなく、前回モニターからのご意見である。

例えば、公園については、車社会なのだから、小さい公園がいくつかあるのではなく、1か所大きい公園があった方がいいというご意見だった。

だからと言って市がそうしようと言うのではなく、あくまでも阿賀野市に一番フィットする形は何かを立地適正化計画で定めていきたいというもの。

○1か所に集約すると、旧4町村ごとに持っている特色が消えてしまう。そこは結構大事なことである。その特色を生かしていくために各地域に機能を集約するというなら分かる。

○行政はその地域の1番の大企業。市役所は水原地区にあるが、ヒト、モノ、カネが全て集まる。旧町村のときは、どんなに小さくても役場に相当な職員がいて、最低でも60億円規模の経済循環があった。それがなくなるのは大きい。

財政上致し方ないという時代が来るかもしれないが、全てが1か所に行ってしまうのはどうかという思いがある。

○地区ごとに拠点を設け、そこに団地ができ、商業施設、医療施設、公園もある住みやすい地区が4か所できて、そこを循環バスが回る。そこから外れた地域は、例えばデマンド方式で一般住民に応募してもらい、ステッカーを張ってもらって、会員制で、連絡があったらその人を乗せて拠点へすぐ行けるようにしてあげるとか、そういった区分け、セーフティーネットみたいなものがまずあって、それから拠点化があるといいのかなと。

その拠点化も1か所に集約するのではなく、地域ごとに特色があるから、地域に1か所ずつ。そこへ住民を誘導していく。そこから外れる人は絶対にいるので、セーフティーネットで、車ですぐ対応できるように。それも自分の車にステッカーを張るだけだ

から。退職した人に運転手をやってもらって、1 か月あたり 5 万円くらい支給すれば、そんなにお金もかけず、セーフティーネットを張れるのでは。退職した人でも運転手くらいはやれるし、小遣いにもなる。

○各拠点を設けるのは良いが、市になって何年経つのかとも思う。各地域に特色はあるが、旧町村名を言っているのもそろそろ終わりにしないとどうにもならないのではないか。若者の会話でも「阿賀野市です」「どこ(地区)?」「水原」といったやり取りである。旧町村の判断しかない。それで、それぞれが拠点化してバラバラになったとき、合併した意味はなんだったのかと疑問である。

【地元企業による市民の優先的な採用(昨年度の意見)】

○企業に対して市民の優先的な採用を促しているが、市役所はどうなのか。市職員の採用に関して、近年は市外在住者、市外出身者が多いように感じる。

【地域医療体制の充実について】

○歯科医院は市内を利用しているが、水原の内科医院は混んでいるので市外へ行く。

○あがの市民病院は、1つの病気から関連していろいろ検査をしてもらえるのは良い。

○市内に医療機関がたくさんあり、人口の割に医者が多いという印象はある。また、救急時も電話するとすぐに対応してくれるので、医療体制は充実していると感じる。

○私が子どもを産んだとき「医師が1人退職したため、あがの市民病院での出産受入を制限する」との話を聞いた。それから常勤医師が一人になったのは知っているが、産科が継続できているかと気になっている。

○あがの市民病院は救急医療の充実のためにできたと記憶しているが、現在、救急車の受け入れは行っているのか？

○救急車で新発田病院に搬送された知り合いは、診察してもらうまでにかなり待たされた聞いた。救急患者受入用のベッドはたくさんあるようだが。

○昨年、笹神体育館で心停止を起こした人がいてドクターヘリを呼んだが、20 分くらいかかった。また、ドクターヘリがある場所まで救急車で患者を運ぶので、その分の手間もある。

あがの市民病院に受入態勢ができていればいい。

【防災減災体制の充実】

○防災行政無線は反響して何言っているか分からない。聞こえるのはチャイムだけ。無線機から近い所なら分かると思うが。

騒音が入らないように家庭のガラスは大体がペアガラスになっているから、家の中にいたら多分聞こえないと思う。

○確かにチャイムは聞こえる。私はすぐ目の前に無線機があるので聞こえるが、離れていると聞こえないかもしれない。

●聞こえない場合、確認の方法があるが分かるか。

○知らない。

○自治会ごとに 3 台ぐらい無線があるが・・・

●それは緊急告知FMラジオ。行政防災無線が流れると市のホームページにその内容が掲載され、確認できる。専用の電話番号で聞くこともできる。あと安全安心メールを登録されている方にはメールが届く。

●電話で内容を確認できるのをご存じだった方は？（挙手した人2名）

○地域の防災訓練で、市から説明受けたときに電話番号を覚えてもらって電話器のところに貼っている。

○その電話は停電時、自家発電はどれくらい持つのか？千葉みたいになったとき・・・

○その電話はみんなが掛けて混み合う可能性はないか？

○最近クマが出没したとき、小中学校の連絡が遅いと感じた。保護者に安全安心メールなどで知らせているのは分かるが、登下校に関して、まず一回落ち着いてからとか、集団下校なり何なり、対応していたのか。

京ヶ瀬地区では、集団下校などはあったか？

○なかったと思う。朝にクマが出たと、自分はたまたま無線の近くではっきり聞こえたが、聞こえなかった人は大変だと思って…

○結局クマは翌朝に見つかったわけですね。その日の朝、子どもたちは普通に登校している。子どもだけで登校しているのはどうなのかと思った。

【子育て世代への移住支援】

○子育て関係で阿賀野市ではいろんな補助を行っているが、他の自治体も同じような取り組みしている。子育てをしている人が、ここを重点的に実施したらインパクトがあって移住したくなるという部分はあるか？

○テレビでやっていた。子ども一人に 1,000 万円やればくるだろうって…

○聖籠町のように保育園・小学校無償化とか。若い人はみんな保育園・幼稚園のうちは聖籠町でアパート暮らしして…

○でも聖籠町は若手世代から人気があるためなのか、物件によりけりだと思うが、新潟市よりアパート代が高いと聞いたことがある。

○聖籠町のうわさは聞いていて、いいなと思った。保育料は 10 月から無償化になるが、未満児を預けている人も多いので、そこも無償化すれば助かる人は多いと思う。おむつ代無償も何人目からというのがあがるが、それもなくなってもらえれば嬉しかった。

どうしても比べる地域があるので、そういう意味では、そういうのが阿賀野市にもあればと思う。

○我が家は、子どもを 0 歳から保育園に入園させていたが、当時は延長保育の関係もあって受け入れてくれる施設がなく、五泉市にお願いしていた。

そこでは未満児の受け入れと、夜 8 時くらいまでの預かりがあった。そういう環境があると働きやすい。